



誰もが大切にされる世界を！

1市4町新春キャラバン2023



延べ109人が参加 夕張行動に28名

1月11日

(水)、13(金)の二日間にわたって、1市4町新春キャラバン行動がありました。

2015年、国民の過半数が反対する中、安保法制(戦争法)が国会で強行採決されました。

これを契機に始まった1市4町のキャラバン行動は、憲法改悪を許さない、憲法9条のもと、平和で一人一人の権利が守られる社会を残そうと訴え続けています。

(立憲民主党・共産党・社会民主党)と各地域の平和団体と南空知憲法共同センターが一緒に、新年の各市町をまわって、アピールをしました。

11日(水)は、栗山・ラツキー店前とコープサツポロ夕張前の2カ所で、13日

税金は、戦争(破壊)のために使わないで！

産党くまがい桂子市議が「今年には異常な物価高の中で、新年を迎えることになりました。新しい年こそ、暮らしが上向き、平和な世の中が訪れてほしい、子どもたちも、若者も、お年寄りも、誰もが大切

南空知憲法共同センターからは、細野悦子共同代表が「軍費増やすより、暮らしを優先した政治へ大きく政治の流れを変えていきましょう」と訴えました。

(金)は、南幌農協ストア店前、長沼役場前、由仁駅前3カ所で、2日間で延べ109名の参加者が集まりました。青空のもと、大雪が積もった雪の山に、23本のノボリ旗がはためいていました。

立憲民主党からは、千葉清美栗山町議が、社会民主党からは、浅野隆雄北海道連幹事長が挨拶をいたしました。

最後に、地元の平和団体「明日の平和をつくりだす夕張の会」の櫻井あきさんが、「今日の午前中は、子どもたちの書初めにボランティアでお手伝いしてきました。書初めは、新年の目標や努力をしたため大切な文化行事で

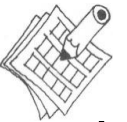


輝ける未来へ！ 二十歳を祝う会

1月8日(日)拠点複合施設りすたにて、「令和5年夕張市二十歳を祝う会」が開催。昨年18歳が成人となり、「成人式」ではなく夕張市二十歳を祝う会実行委員会が企画運営を担当しています。

市長をはじめ、ゆかりの先生方からの言葉では、自分を信じる、本質を見抜くこと、学ぶこと、出会いを大切にすること等、大切なメッセージを託されました。

その後、二名の代表が二十歳の抱負を述べ、温かい拍手が。記念撮影で笑い合う姿は未来を担う輝きに満ちていました。



くずさんの 夕張歴史散歩(194)

人間の働くところでない

(高温現場でのたたかい③)

炭鉱での労働

坑内は、地中奥深く掘り進むわけですから、一般的には深くなればなるほど温度は上がります。そこで働くには対策を講じるのは当然の事です。

同じく、地中を掘るので、その空間に対して地圧がかかっています。石炭を掘り出す、炭鉱で働くという時に「通気」と「地熱」そして「地圧」の対策は欠くことが出来ません。

主要坑道の悪化激し

二鉱三区の右一と二号坑道は、一区、二区、新四区方面に通じる主要坑道なのですが、坑道上部のロングがすむにしたがつて盤ぶくれ(下盤が地圧で盛り上がる現象)や山庄による坑道悪化が激しくなりました。(つまり坑道が潰されてきたのです。)

坑道がつぶれて狭まってくると、切羽で掘り出した石炭を運搬することにも支障が起きます。当然に通気も悪くなります。

負傷者も出て保安上放置できない状況で、早くから改善要求は出されていました。しかし出炭優先のため、坑道確保のための人員が配置されていません。

第二運搬も立つ

七月十二日、こんな異常高温の現場で働けないと二鉱三区の現場は、作業を拒否します。

これに呼応して七月十四日、第二運搬の職場でも坑道を維持せよと要求し、一斉に作業を放棄します。

ここに人間らしく働く権利をかけて、人権をかけてのたたかいが、現場から起きたのです。

こうして二鉱三区の高温と第二運搬の坑道改善は、多少は問わず各現場で共通の要求でした。



紙智子「国会かけある記」
参議院議員

紙智子

大軍拡反対の国民的大運動に

年明けから東京と北海道の往来がつづいています。4から5日と東京で会議、6日は北農連の新年交流会、党道委員会の旗開きで130%の党づくりへの決意を固めました。翌日は別海町、8日は札幌市白石区の成人式に参加しました。

10日は東京に戻り国会議員団会議に出席。12、13日は札幌市で諸団体を訪問し、岸田政権が突き進む大軍拡、戦時体制を許さない運動を呼びかけながら、各団体の取り組みや要望を聞き意見交換をしました。

農民連、北商連、原発連、高教組、道教組、自由法曹団、新日本婦人の会、道生連、道労連、戦争させない市民の風・北海道のみなさんと意見交換。改めて各団体の活動と役割の大きさを痛感させられました。

農民連では特に酪農家の離農が相次いでいること、この現実を打開すべく1月の全国会議に向けた取り組みが語られました。北商連では「税制改正大綱」の法案に納税者の自由な自主申告運動を弾圧しかねない改悪への警戒と阻止への決意が表明されました。

原発連は岸田政権の原発政策の大転換を批判、泊原発を再稼働させない運動、核のゴミ問題にふれて、原発ゼロ、再生可能エネルギーへの転換の取り組みが出されました。

市民の風・北海道とは初の懇談となりました。「新しい戦前にさせない」「軍拡でなく、戦争を起させない方法について国民にわかってもらおうことが大事」と。各団体から「わかりやすい押し出しで国民的な大運動に」とお互いに決意を固めました。